

第 27 回（教育）分科会報告書

1. 開催日時：平成 28 年 6 月 22 日（水） 15：30～17：00

2. 開催場所：やめっこ未来館

3. 参加者（所属のみ）

筑後特別支援学校、ふるさと、南筑後保健福祉環境事務所、陽だまりの里、あおぞら、さら、ミライプラス、八女総合療育館、あるくとぷらす、つくし園、HIRO キッズ、上妻小学校、黒木小学校、広川中学校、福島高校、八女市、リーベル

4. 実施内容

○講演 『弟のこれまでとこれから』

講師：NPO 法人おせっかい工房咲風里 理事

高齢者福祉サービス事業所勤務 森田 核 氏

○講演概要

弟の T 氏と歩まれた幼少期から現在までの出来事や講師が社会福祉を学ばれた経緯、「居場所づくり」の活動に取り組まれたこと等をお話しいただいた。またその中で生じた兄弟、家族としての想いや将来への不安と方向性についてまとめられた。T 氏のこれまでの歩みをまとめたスライド、当時を知る T 校長からのコメント、フロアからの質問があり、兄弟、家族の想いについて考え、共生社会について深める機会となった。座長より全体のまとめを行い分科会を閉じた。

○アンケートの中で参加者から多くの意見・感想が寄せられており、以下に抜粋し掲載する。

- ・当事者の声を聞くことは少しありましたが、実際に兄弟姉妹の声を聞く機会がなかなかないので、伺うことができてよかったです。
- ・座長挨拶にもあったように、保護者（父母）の視点が兄弟とは違う点を感じた。愛情は変わらない点は素晴らしかった。
- ・お兄さんとしての思いが聞けてよかったです。お兄さんなりの葛藤や、思い、願いなどがよく分かりました。兄弟自身にも夢があるので、それを実現しつつ、障がいのある兄弟を支えていく大変さを改めて知ることができました。
- ・地域の中で生きていく。そのために、私たちが今度何をしていかなければならないか。様々情報を共有していくことも大切だと・・・障害の特性等、全ての人々が理解をしていく必要があると感じます。
- ・地域の事業所や教育機関等でもいろいろな課題があると思います。うまくいっているシステムもあれば、そうでないシステムもあるかと思うので、教育という切り口でみたときの課題をみつけていけるといいなあと思います。警察や地域への啓発という話が今日も出たかと思いますが、地域としての取り組みを行っていかないともったいないなあと思います。地域の人に知っていただく機会を協力してつくっていただけるとありがたいなあと思いました。